

授 業 科 目 名	地域看護学概論	担 当 教 官	梅林奎子
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2 単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	地域看護の概念	地域看護の概念、定義	
2		地域保健と公衆衛生と総合保健医療	
3		地域看護と公衆衛生看護(レポート課題提出)	
		公衆衛生の定義と公衆衛生看護	
		保健師助産師看護師法の規定(保健師と保健指導)	
4	地域看護活動の理念	地域看護活動の理念・目的	
		地域看護活動と総合看護及び看護の継続性	
		プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーションと地域看護活動。公衆衛生看護活動	
		ノーマライゼーション、自己の尊厳と権利擁護(アドボカシー)と公衆衛生看護活動	
5	地域看護の機能	地域看護の担い手と機能	
6		保健師活動の実践例(レポートとグループワーク)	
7		実践例から保健師の活動の理念、本質、活動の原則、方法、保健師の資質を考える	
8			
9	地域看護活動の原則と成立条件	地域看護活動の原則と成立条件	
10	地域看護活動の対象と特性	対象のとらえかた	
		個人の特性、家族の特性	
		ライフサイクルと地域看護	
		健康レベルと地域看護	
11	地域看護活動の場の特性	地域(保健所、市町村保健センター等)	
12		事業所、学校	
13		その他(病院・福祉施設・訪問看護ステーション等)	
		} と連携	
14	地域看護活動の方法とあり方	集団検診、健康教育、健康相談、家庭訪問、ケアシステムづくり、地区組織活動	
		保健師活動のあり方 実践例から保健師の活動の独自性、専門性	
		役割、資質、姿勢等を考える	
		保健師のコーディネーションの機能	
		行政と保健師の活動	
15	国際保健と看護 災害時の保健師の活動	国際協力と保健師の活動	
		災害時の看護の歴史、実践例から災害時の保健師の役割	
テキスト、教材、参考書		保健学講座 :地域看護学概論 金川克子他著 メヂカルフレンド社 国民衛生の動向 2001(2002) 公衆衛生看護学総論 平山朝子他著 日本看護協会出版会 地域看護学総論 島内節他著 医学書院 ナイチンゲール著作集 薄井坦子他訳 現代社	

回	講義題目	内 容
16 ~ 21	保健師活動の歴史(日本・外国)	外国における地域看護の発祥 日本における保健師の誕生 大正、昭和の保健師活動 日本の看護制度と保健師の歴史 保健師の教育の歴史 } 概説
22 ~ 27	保健師活動の歴史と展望(日本)	演習: 学生が希望のテーマで歴史から保健師活動(公衆衛生看護)の本質、活動のあり方、今後の展開について考える 希望のテーマ例 母子保健における保健師の歴史 結核における保健師の歴史 精神保健活動の歴史 難病、成人保健、老人保健活動の歴史 農村の保健師活動の歴史 時代別の歴史 等
28 ~ 30	公衆衛生看護管理	人事管理・業務管理 新しい事業の施策化の機能

授業科目名	地域看護学概論	担当教官	矢島正栄
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	必修	教室名 302 講義室
回	講義題目	内 容	
1	地区活動の基本	地区活動の考え方、目的、対象の捉え方	
2	”	”	
3	地区活動の展開1	地区把握、問題発見	
4	”	”	
5	地区活動の展開2	地区診断	
6	地区活動の展開3	活動方針と目標の設定、活動計画の作成	
7	”	”	
8	地区活動の展開4	地区活動の実践、地区活動の評価	
9	施策化の考え方	地域のヘルスニーズに答える方法としての施策化の必要性、施策化のプロセス	
10	保健計画1	保健計画の考え方	
11	保健計画2	法・制度に基づく計画と保健師の役割 (地域保健医療計画、母子保健計画、高齢者保健福祉計画)	
12	保健計画3	保健計画に盛り込む内容と作成過程、計画を実現させるための条件・方法	
13	保健計画4	保健計画の評価	
14	地域保健法にみる保健師の活動1	地域保健法と保健所保健師の活動	
15	地域保健法にみる保健師の活動2	地域保健法と市町村保健師の活動	
テキスト、教材、参考書		保健学講座1 地域看護学概論	メヂカルフレンド社
		保健学講座2 地域看護方法論	メヂカルフレンド社
		国民衛生の動向 2001(2002)	
		これからの地域保健	中央法規

授 業 科 目 名	在宅看護概論	担 当 教 官	小林亜由美
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	在宅看護の理念と目的	在宅看護の理念と目的、在宅ケアに関わる用語の整理	
2	在宅看護に関わる現状	在宅看護に関わる現状	
3	在宅看護技術1	生活環境整備、生活動作に関する基本技術(講義・演習)	
4	” 2	食事、睡眠に関する基本技術(講義・演習)	
5	” 3	清潔、排泄に関する基本技術(講義・演習)	
6	” 4	受療支援・リハビリテーションに関する基本技術(講義・演習)	
7	在宅療養者の地域支援体制 1	在宅ケアに関わる関係機関・関係職種と保健福祉サービス	
8	” 2	在宅ケアマネジメントの理念・目的・方法	
9	” 3	ケアチームのあり方、チーム形成の方法、ケアチームにおける保健師の役割	
10	” 4	在宅ケアシステムのあり方、在宅ケアシステムの構築に関わる保健師の役割	
11	” 5	在宅ケアの評価、新たな社会資源や制度の開拓	
12	介護保険制度の概要 1	介護保険制度の内容 1	
13	介護保険制度の概要 2	介護保険制度の内容 2	
14	介護保険制度の概要 3	介護保険制度に関わる看護職の役割	
テキスト、教材、参考書		保健学講座4成人地域看護活動論 メヂカルフレンド社 保健学講座5高齢者地域看護活動論 メヂカルフレンド社	

授 業 科 目 名	地域看護活動論	担 当 教 官	矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2 単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	健康相談1	健康相談の目的と役割	
2	健康相談2	健康相談の対象	
3	健康相談3	健康相談の技術	
4	健康相談4	"	
5	家庭訪問1	家族の発達課題、家族の持つ保健機能	
6	家庭訪問2	家族の問題把握と診断、家族支援	
7	家庭訪問3	家庭訪問の目的と意義、家庭訪問の対象	
8	家庭訪問4	訪問計画の作成、訪問準備、訪問目的の伝え方	
9	家庭訪問5	観察、情報収集、看護援助、家族保健指導	
10	家庭訪問6	訪問後の報告・連絡調整、訪問者の管理、訪問記録の作成と今後の方針の明確化	
11	健康診査1	健康診査の目的、対象、保健師が関わる健康診査	
12	健康診査2	事業の展開方法、保健師の役割	
13	機能訓練事業	機能訓練事業の目的、対象、事業の展開方法、保健師の役割	
14	地区組織活動1	地区組織活動の考え方と意義	
15	地区組織活動2	自助グループの運営、地域住民の自助・互助と専門職・自治体との連携、社会資源の活用	
16	健康教育1	健康教育の理念と目的、患者教育の考え方	
17	健康教育2	健康教育と保健行動、健康教育の理論	
18	健康教育3	健康教育の対象、方法、媒体	
19	健康教育4	健康教育活動の展開過程と必要要件	
20	健康教育5	健康教育計画と指導案	
21	健康教育6	健康教育の評価	
22	健康教育演習	1.目的	
~		地域の人々を対象とする集団教育の展開方法と、教育的働きかけの在り方を学ぶ。	
30		2.実施方法	
		1)対象:高山村住民	
		2)内容:対象の要望に応じてテーマを設定し、健康教育の計画・実施・評価を行う。	
		3)実施期間:平成14年11月~12月	
テキスト、教材、参考書		メヂカルフレンド社 保健学講座2 地域看護方法論 メヂカルフレンド社 保健学講座12 健康教育論	

授 業 科 目 名	地域看護活動論	担 当 教 官	矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1 ~ 13	演習 1. 地区診断と地区活動 計画作成演習	<p>1. 目的: 地域住民のヘルスニーズの把握方法と、ヘルスニーズに対応させた地域保健活動の展開方法を理解する。</p> <p>2. 方法</p> <p>1) 対象地域: 高山村</p> <p>2) 内容: 対象地域の地区把握・地区診断・健康問題の分析・活動方針と目標の設定・活動計画の作成・評価計画の作成</p> <p>3) 実施方法: 4~5グループに分かれて母子、成人等の担当分野を割り当て、グループワークを基本として行う。</p>	
14 15	2. 地区活動計画報告・ 検討会	<p>各グループが作成した地区活動計画を発表し、内容について全体で討議を行う。</p> <p>助言者: 高山村保健センター保健師、専攻科教員</p>	
テキスト、教材、参考書		保健学講座2 地域看護方法論 メヂカルフレンド社 公衆衛生看護学大系1 公衆衛生看護学総論 日本看護協会出版会	

授 業 科 目 名	在宅看護活動論	担 当 教 官	小林亜由美
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	高齢者の在宅看護1	寝たきり老人の在宅看護	
2	” 2	痴呆性老人の在宅看護	
3	” 3	高齢者の虐待、高齢者の家族に対する支援	
4	” 4	在宅要介護老人の地域支援体制1	
5	” 5	在宅要介護老人の地域支援体制2	
6	難病患者の在宅看護1	難病の概念と動向	
7	” 2	難病患者とその家族が抱える問題	
8	” 3	難病患者の保健指導1	
9	” 4	難病患者の保健指導2	
10	” 5	難病患者の地域支援体制	
11	特殊な処置・管理を要する在宅患者の管理1	在宅酸素療法を行う患者、人工呼吸器を使用する患者の管理と地域支援体制	
12	特殊な処置・管理を要する在宅患者の管理2	CAPD を行う患者、在宅中心静脈栄養を行う患者、人工肛門、膀胱瘻を持つ患者の管理と地域支援体制	
13	在宅ターミナルケア1	在宅ターミナルケアの動向、在宅ターミナルケアを支える地域支援体制	
14	” 2	在宅ターミナルケアに関わる看護職の役割	
テキスト、教材、参考書		保健学講座5 高齢者地域看護活動論	メヂカルフレンド社
		保健学講座4 成人地域看護活動論	メヂカルフレンド社

授 業 科 目 名	母子保健活動論	担 当 教 官	矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	母子保健の理念と目的 母子保健活動の歩み	少子高齢化社会における母子保健の理念と目的 我が国の母子保健活動の歴史	
2	母子保健の現状	現在の母子保健の水準と母子保健活動の概要、健やか親子21	
3	母子の健康生活と保健 指導の基本(1)	若い家族の健康生活、妊娠・分娩・産褥期の生活と保健指導	
4	母子の健康生活と保健 指導の基本(2)	乳児の成長発達・健康・生活	
5	母子の健康生活と保健 指導の基本(3)	幼児の成長発達・健康・生活	
6	母子の健康生活と保健 指導の基本(4)	学童期・思春期の成長発達・健康・生活	
7	母子保健指導の実際 (1)	地域の母子保健活動の実際と保健師の役割(1)	
8	母子保健活動の実際 (2)	"	
9	母子保健指導演習(1)	離乳食メニュー考案・調理演習	
10	母子保健指導演習(2)	"	
11	母子保健指導演習(3)	"	
12	ハイリスク母子の保健指 導(1)	未熟児の保健指導、障害児の保健指導	
13	ハイリスク母子の保健指 導(2)	小児慢性特定疾患患児の保健指導	
14	ハイリスク母子の保健指 導(3)	育児環境や育児方法に問題のある母子、ハイリスクな母親への保健指導	
15	勤労女性の保健管理	勤労女性の健康問題と保健指導	
テキスト、教材、参考書		保健学講座4成人地域看護活動論 メヂカルフレンド社 保健学講座5高齢者地域看護活動論 メヂカルフレンド社	

母子保健指導技術に係る成長発達・健康の観察、清潔、排泄、調乳等の演習は地域看護学実習 の学内実習をこれに代える。

授業科目名	成人・高齢者保健活動論	担当教官	小林亜由美
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 302 講義室
回	講義題目	内 容	
1	成人・高齢者の現状と保健施策	我が国の成人・高齢者の生活と健康に関する現状、老人保健法、健康日本21、ゴールドプラン21、高齢者保健福祉計画	
2	”	”	
3	”	”	
4	成人保健指導1	成人期の発達課題	
5	成人保健指導2	生活習慣病の誘因と保健指導の進め方	
6	成人保健指導3	健康づくり対策の実際と保健師の役割	
7	成人保健指導4	長期慢性疾患患者の保健指導1 循環器疾患	
8	成人保健指導5	長期慢性疾患患者の保健指導2 呼吸器疾患	
9	成人保健指導6	長期慢性疾患患者の保健指導3 癌、肝臓・腎臓・消化器の疾患	
10	成人保健指導7	長期慢性疾患患者の保健指導4 糖尿病、肥満	
11	成人保健指導8	長期慢性疾患患者の保健指導5 貧血、筋・骨格の疾患	
12	高齢者保健指導1	高齢者の発達課題と生活の特徴	
13	高齢者保健指導2	高齢者の生きがいづくり、寝たきり予防、社会的支援体制づくり	
14	高齢者保健指導3	高齢者を対象に行われる地域保健活動の実際(高山村の例)	
15	障害者(児)保健指導1	障害者の権利と環境づくり	
16	障害者(児)保健指導2	障害者(児)と家族の保健指導	
17	障害者(児)保健指導3	障害者(児)を支援する法律・制度	
18	感染症保健指導1	急性感染症の推移、感染症予防法	
19	感染症保健指導2	感染症予防対策、感染症の予防教育、感染症発生時の保健指導	
20	感染症保健指導3	ウイルス性肝炎の保健指導、エイズの保健指導	
21	感染症保健指導4	O-157、MRSA、性感染症の保健指導	
22	感染症保健指導5	結核対策の歴史と今後の課題、結核の病態と医療	
23	感染症保健指導6	結核予防法	
24	感染症保健指導7	我が国における結核対策の概要1 健康診断、予防接種	
25	感染症保健指導8	我が国における結核対策の概要2 患者管理システム	
26	感染症保健指導9	結核患者に対する保健指導の実際	
27	感染症保健指導10	サーベイランス	
28	歯科保健指導	生涯を通じた歯科保健指導	
テキスト、教材、参考書		保健学講座4成人地域看護活動論 メヂカルフレンド社 保健学講座5高齢者地域看護活動論 メヂカルフレンド社 国民衛生の動向 厚生統計協会 衛生行政大要 日本公衆衛生協会	

授 業 科 目 名	地域精神保健福祉活動論	担 当 教 官	竹内一夫
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期(集中講義)
単 位	1単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	精神保健原論	健康の定義、健康と不健康、心身相関などについて概説する	
2	心の発達と精神保健(1)	発達心理学、社会心理学の基本(ライフサイクルなど)について概説する	
3	心の発達と精神保健(2)	上記の続き	
4	精神保健疾病概論(1)	精神保健活動の対象となる疾病(精神分裂病、うつ病など)について概説する	
5	精神保健疾病概論(2)	上記の続き(思春期・老年期の精神障害など)	
6	精神保健福祉概論(1)	医療福祉制度における精神保健の歴史と現状について概説する	
7	精神保健福祉概論(2)	地域保健行政における精神保健のしくみや動向について概説する	
8	精神保健援助技術(1)	働きかけの基本(1);援助の基本的なやり方について概説する	
9	精神保健援助技術(2)	働きかけの基本(2);上記の続き	
10	精神保健援助技術(3)	働きかけの場(1);場所別の援助のあり方について概説する	
11	精神保健援助技術(4)	働きかけの場(2);上記の続き	
12	地域精神保健活動(1)	地域精神保健活動における看護職の役割と活動の実際について概説する	
13	地域精神保健活動(2)	精神保健福祉活動における援助のやり方の実例について解説する	
14	地域精神保健活動(3)	上記の続き	
15	総括	以上のまとめと評価を行う	
テキスト、教材、参考書		保健学講座 6 地域精神保健活動論 メヂカルフレンド社	

授 業 科 目 名	職域保健活動論	担 当 教 官	齊藤玲子・中下富子・ 矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	【産業保健】 職域保健(産業保健)の 活動と意義	産業保健の目的・対象 労働衛生の 3 管理	
2	労働衛生法規と労働衛生 行政	労働衛生の歴史・法律の変遷 主な法令、安全衛生法、じん肺法、労働基準法 業務上の疾病の範囲	
3	作業管理	粉塵作業、有機溶剤作業、VDT 作業、腰痛対策、騒音対策、保護具	
4	作業環境管理	作業環境管理の基本	
5	職業病・作業関連疾患	化学的要因によるもの、物理的要因によるもの	
6	労災保険	業務上疾病の取扱について	
7	健康管理	健康管理とそのすすめ方、職場における健康診断の概要、一般健康診断、特 殊健康診断、THP 活動 オフィス労働の健康管理、労働時間と健康管理、中高年の健康管理、女子・年 少労働者の健康管理、外国人労働者の健康管理、海外労働者の健康管理	
8	メンタルヘルス		
9	職場見学 産業保健師の役割・業 務・活動の実際	総合的な管理と業務調整 企業内における保健師活動とその実際 今後の課題、産業保健師に求められる資質	
	【学校保健】		
1	学校保健とは	学校保健の考え方と構造 教育に果たす養護教諭の役割 学校における健康教育	
2	学校保健計画 学校保健組織活動 保健室の機能と運営	健康実態の把握と課題 学校保健計画の基本と内容 学校保健組織 学校保健委員会とその進め方 保健室の機能 保健室経営案	
3	健康診断 健康観察	健康診断の目的と展開 健康観察の方法	
4	疾病の予防と管理	伝染病予防と管理の実際	
5	救急処置活動 学校安全 学校環境衛生活動	救急処置の進め方の基本 救急体制 事故及び災害防止と安全の考え方 学校環境衛生の基準に基づく管理	
6	健康相談活動	健康相談活動の基本とそのすすめ方	
7	保健教育活動	保健学習・保健指導の基本と実際	
8	障害児教育 まとめ	特殊教育諸学校(盲・聾・養護学校)における養護教諭の役割 養護教諭に必要な能力とこれからの養護教諭	
テキスト、教材、参考書		産業看護活動論 メヂカルフレンド社、産業保健マニュアル 南山堂 国民衛生の動向 厚生統計協会 養護概説 ぎょうせい 学校保健マニュアル第 4 版 南山堂 保健学講座3 母子保健活動論 メヂカルフレンド社、プリント	

授業科目名	国際保健活動論	担当教官	矢嶋和江
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	選択	教室名 302 講義室
回	講義題目	内 容	
1	国際関係論 先進国と開発途上国	<ul style="list-style-type: none"> 1. 世界の宗教や人種、文化 違いから派生する問題について考える 2. 政治や経済などの変化する国際情勢 政治システムや経済構造が開発に与える影響について考える 3. 開発途上国と先進国イメージ 	
2 3	開発途上国の健康問題	<ul style="list-style-type: none"> 1. 開発途上国の環境衛生 水、ゴミ、スラムなどから「人」の環境を考える 2. 貧困と健康問題 何故貧しいのか、貧困の及ぼす健康問題を考える 3. 栄養と健康問題 飢餓、栄養不良、肥満、ヨード欠乏等について考える 4. 感染症対策 	
4	母子保健とジェンダー	<ul style="list-style-type: none"> 1. 開発途上国に於ける母子保健の現状 リプロダクティブヘルスライツの視点から考える 2. 伝統的医療と民族としての慣習的医療 女性と子供の健康に関する人権問題 	
5 6	保健医療分野における国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 1. 国際協力の歴史的経過と現状 WHO の機構とその役割 国際機関の役割 NGO の役割 2. 開発途上国の援助ニーズについて 3. 日本の国際協力にむけた役割 	
7	まとめ * 講義の初めに同一資料 を読み、右記テーマでグ ループ検討したものを発 表	<p>開発途上国の保健問題 問題の派生する原因、対策、今後の課題について</p>	
*	開発途上国に於ける保健 活動の実践例(外部講師 依頼予定)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 青年海外協力隊の保健活動事例 2. NGO の保健医療協力の活動事例(外部講師) 3. 戦争と医療協力: 難民キャンプにおける活動 	
テキスト、教材、参考書		<p>医学書院「国際看護学入門」 資料 世界子供白書 世界難民白書 VTR 「アンゴラの女性たち」「コロンビアの子供健康革命」「児童労働」その他 参考書「多文化世界」G・ホフステード著 有斐閣、「異文化看護論」レインガー著 医学書院、「アジアは何故貧しいのか」鶴見良行著 朝日選書、「女たちがつくるアジア」松井やより著 岩波新書、「いのち・開発・NGO」ディビットワナー著 新評論社、「死を招く援助」ブリギッテ・エルラー著 亜紀書房、「看護は文化」志摩チヨ著 メヂカルフレンド社、「援助原論」中田豊一著 学陽書房、その他</p>	

授 業 科 目 名	カウンセリング	担 当 教 官	佐光恵子
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	選択	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>カウンセリングの目標は、特定の問題行動の除去や治療ではなく、よりよい適応と成長発達を促す援助活動です。特定の学派や理論にとらわれず、カウンセリングの基礎、基本的なことから学びます。そして、看護や福祉、教育に生かすカウンセリング的アプローチの実際を、演習や実習をとおして実践的に学びます。</p>	
1	カウンセリングとは(導入)	グループエンカウンター的導入	
2	カウンセリングの概念	「カウンセリングとは?」「カウンセリングって何?」	
3	カウンセリングの理論	代表的なカウンセリング理論を中心に	
4	カウンセリングの理論	"	
5	カウンセリングのプロセス	カウンセリングの活用領域、動向	
6	カウンセリングの技法	カウンセリングの3段階(リレーション・アセスメント・トリートメント)	
7	カウンセリングの技法	看護・福祉・教育に生かすカウンセリング	
8	まとめ	* ロールプレイやケーススタディ等も講義の中で扱いたいと考えています	
テキスト、教材、参考書		資料、プリント配布は随時	

授 業 科 目 名	運動療法論	担 当 教 官	近藤照彦
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	選択	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	オリエンテーション	講義概要解説	
2	講義	健康の評価	
3	講義	運動負荷試験	
4	実習	運動負荷試験	
5	実習	運動負荷試験	
6	講義	体力測定	
7	実習	体力測定	
8	実習	体力測定	
9	講義	運動負荷試験の臨床	
10	講義	運動負荷試験結果の解釈	
11	講義	運動処方	
12	講義	肺疾患患者に対する運動処方	
13	講義	運動処方に影響するほかの疾患	
14	講義	小児・高齢者および妊婦のための運動負荷試験と処方	
15	まとめ		
テキスト、教材、参考書		実習時、トレーニングウェアを着用 テキスト購入「運動処方の指針」原著第5版「南江堂」¥3000	

授 業 科 目 名	歯科保健論	担 当 教 官	小林圭一
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単 位	1 単位	選択	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1	概説	概説 歯科についての基本的知識	
2	地域歯科保健	地域歯科保健 歯科保健医療の基本的理念について 8020 運動について 在宅歯科診療について 保健所における歯科保健事業について	
3	母子歯科保健	母子歯科保健	
4		幼児期における歯科保健の意義 幼児期の虫歯の特徴 幼児期における虫歯の予防 幼児期における歯科保健指導	
5	学校歯科保健	学校歯科保健	
6		歯の健康づくりの理論と実際 歯の保健指導の実際 歯の保健指導における組織活動	
7	成人・老人歯科保健	成人・老人歯科保健	
8		成人歯科保健事業 在宅要介護者歯科保健推進事業	
テキスト、教材、参考書		プリントを配付する。	

授業科目名	英語	担当教官	河原崎やす子
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	前期
単位	1単位	必修	教室名 302 講義室
回	講義題目	内 容	
		<p>日本在住の外国人が急増している現在、医療スタッフにとって外国人との意思疎通をはかることは、重要な責務となっている。看護に携わる者にとって必要最低限の英語を話し、理解することが出来るようになることが、この授業の目的とするものである。従って、授業の中で身につけたいのは、日常英会話の基本と、専門用語を使った会話の双方である。毎回の授業では、復習を繰り返しながら、出来るだけ自然で平易な英会話の修得に向けた実践的取り組みをする予定である。</p>	
テキスト、教材、参考書		クリスティーンのやさしい看護英会話 医学書院	

授 業 科 目 名	英 語	担 当 教 官	河原崎やす子
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	選 択	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>英語 に引き続き、実践的な英語を身につけることを目指す。選択授業であるので、出来るだけ学生のニーズを集約した形で授業を進行してゆく予定。可能ならば、読み、書きの能力もつけられるように、指導する。</p>	
テキスト、教材、参考書		未定	

授業科目名	疫学	担当教官	宮崎有紀子
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 302 講義室
回	講義題目	内 容	
1	健康の定義	健康とその成り立ち	
2	疫学的方法(1)	疫学の定義、記述疫学	
3	疫学的方法(2)	分析疫学、検査の妥当性と信頼性	
4	健康管理の基礎(1)	健康管理の意義、正常と異常の考え方	
5	健康管理の基礎(2)	スクリーニング検査	
6	健康管理の基礎(3)	健康管理の範囲、健康づくりについて	
7	健康指標(1)	健康現象の測定方法、指標化の方法	
8	健康指標(2)	死亡率に関する指標、年齢調整死亡率	
9	健康指標(3)	生命表、出生率に関する指標、人口の再生産率	
10	健康の水準(4)	人口、死亡、平均寿命、出生の動向	
11	感染症の疫学(1)	感染症成立の要因、流行現象	
12	感染症の疫学(2)	感染症の予防、感染症関連法規の概要	
13	感染症の疫学(3)	主な感染症の頻度と分布	
14	演習		
15	試験		
16	環境と健康(1)	環境と健康のかかわり	
17	環境と健康(2)	生活環境と健康	
18	環境と健康(3)	環境上の問題と保健活動の展開	
19	生活習慣と健康	国民栄養の現状、喫煙・飲酒習慣	
20	生活習慣病の疫学(1)	悪性新生物の疫学	
21	生活習慣病の疫学(2)	循環器疾患の疫学	
22	生活習慣病の疫学(3)	糖尿病の疫学	
23	老年期の健康管理	老年期の疫学的特徴	
24	その他の疾患の疫学		
25	疫学演習(1)		
26	疫学演習(2)		
27	疫学演習(3)		
28	疫学演習(4)		
29	疫学演習(5)		
30	試験		
テキスト、教材、参考書		看護学基礎講座 保健学・疫学・保健統計-、真興交易医書出版部 国民衛生の動向	

授業科目名	保健統計	担当教官	宮崎有紀子
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 302 講義室
回	講義題目	内 容	
1	保健活動と統計データの性質	看護、保健活動の中で統計を活用する意義について 質的データと量的データ、尺度水準	
2	母集団と標本	母集団と標本の概念、疫学的調査方法、質問紙による調査	
3	一変数の整理	度数分布、代表値と散布度	
4	一変数の整理(2)	代表値と散布度・演習	
5	標本分布	平均値の分布と中心極限定理	
6	母数の推定	点推定、区間推定、母平均値の推定、母比率の推定	
7	検定(1)	検定の論理と手順	
8	検定(2)	母平均値の検定、母比率の検定	
9	検定(3)	母平均値の差の検定	
10	相関と関連(1)	量的データ間の関係、相関係数と相関係数の検定	
11	相関と関連(2)	質的データ間の関係、クロス集計とカイ2乗検定	
12	相関と関連(3)	質的データと量的データの関係、順位相関係数	
13	検定(4)	一元配置分散分析、ノンパラメトリック検定	
14	演習		
15	試験		
16 ~ 27		保健統計演習	
28		保健統計演習のまとめ 人口統計の概要	
29		保健統計演習のまとめ 保健統計資料の概要(1)	
30		保健統計演習のまとめ 保健統計資料の概要(2)	
テキスト、教材、参考書		看護学基礎講座 保健学-疫学・保健統計-, 真興交易医書出版部 国民衛生の動向 公衆衛生看護学大系8 疫学・保健統計学日本看護協会出版会	

授 業 科 目 名	保健福祉行政論	担 当 教 官	大野絢子・福島富和・ 矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単 位	2 単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
1 2	公衆衛生行政の理念と目 標	(1)公衆衛生とは (2)衛生行政と公衆衛生 (3)健康政策の時代	
3 4	公衆衛生行政の発展過 程	我が国における公衆衛生行政の発展	
5	公衆衛生行政の財政	(1)国の財政の仕組み (2)地方財政の仕組み (3)国と地方公共団体の関係	
6	公衆衛生行政の制度と機 能	公衆衛生行政の分野	
7 8	地域保健法に基づく新し い動向	地域保健の体系、地域保健法、地方公共団体行政の課題	
9	保健医療計画	地方公共団体の基本構想と保健医療計画、保健医療計画の評価と推進管理、 費用・効果、医療費の分析	
10 ~ 12	保健予防活動の実際	地域における保健予防活動	
13	医療	医療対策の概要、医療提供体制、医療の財政	
14	薬事、生活環境、環境保 全	薬事行政の概要、医薬品・医療用具の安全対策、血液事業、薬事監視、麻薬・ 覚醒剤等の対策、食品保健、環境衛生、建築物衛生、家庭用品の安全、環境 行政の概要、自然環境保全、公害対策、環境と健康被害、放射線	
15	試験		
16	社会保障・社会福祉の理 念と歴史		
17	〃		
18	社会保障・社会福祉の法 体系と行政	所得保障、医療保障	
19	〃	〃	
20	〃	生活保護制度	
21	〃	児童福祉	
22	〃	障害者(児)の社会福祉	
23	〃	家庭福祉	
24	〃	高齢者の社会福祉	
25	社会福祉の諸方法	社会福祉実践の基本問題	
26	〃	ケースワーク	
27	〃	グループワーク	
28	〃	コミュニティワーク	
29	社会福祉実践の機関と専 門職		
30	〃		
テキスト、教材、参考書	テキスト 保健学講座 4 保健福祉行政論 メヂカルフレンド社 参考書 社会福祉原論(新版)星野貞一郎著 有斐閣 厚生白書(平成11・12・13年版) 社会変動の中の福祉国家 富永健一著 中央公論新書		

授業科目名	地域看護学研究	担当教官	梅林奎子
対象学生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単位	2単位	必修	教室名 302 講義室
回	講義題目	内 容	
1	ガイダンス	研究時間 60 時間の概要をガイダンスする 各自の研究の分野についての希望を調査する 研究テーマの決定から論文提出までは既習学習であるが、確認する 研究計画書作成について	
1 ~ 7	社会調査とは 調査方法	*地域看護活動においては、地区診断や地域の健康問題を特定するための調査を実施し統計的解析が求められると同時に必要となる したがって、社会調査法の概要を理解し、地域看護に適用かつ応用できるように社会調査について概説する 社会調査、調査研究とは 地域看護への適用 調査研究の方法(統計的調査と事例研究法) 調査票と質問紙 調査項目と質問 調査票の構成(質問紙の作成) 集計計画 調査の方法(自記式・他記式) (集合調査・留め置き・面接等) 測定尺度	
	データの整理	データのまとめかた データの分析(疫学・保健統計の知識を適用)	
8 ~ 30	論文作成 演習	論文の構成、文献 抄録の作成 グループ編成し実施する(5~6グループ) 成果を発表する *授業時間内のみでは完成しないので、自己の時間を活用して論文をまとめる	
	報告会	*別途指示する	
	論文提出	*別途指示する	
テキスト、教材、参考書		なし	

授 業 科 目 名	地域看護学実習	担 当 教 官	矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	通年
単 位	3単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>1.目的 保健所・市町村における地域看護活動の展開方法と保健所・市町村保健師の役割を学ぶ。</p> <p>2.方法と内容 1)家庭訪問実習 実習場所:高山村 実習内容:受け持ち事例への家庭訪問による継続的援助により、個別援助の展開方法と、個別援助活動をとおして地域の健康問題を把握する視点を学ぶ。 実習期間:4月～5月・・・学内実習 6月～7月・・・家庭訪問の実施</p> <p>2)市町村(保健センター)・保健福祉事務所実習(集中実習) 実習場所:市町村(保健センター)、保健福祉事務所 実習内容:実習施設における地域保健活動の実際と、そこに勤務する保健師の活動をとおして、地域看護活動の展開方法と保健師の役割を学ぶ。 実習期間:9月～10月</p>	
	テキスト、教材、参考書		

授 業 科 目 名	地域看護学実習	担 当 教 官	矢島正栄
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	必修	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>1. 目的 在宅ケアに関わる援助技術、及び、在宅療養者を支える地域ケアシステムとそれに関わる保健師の役割を学ぶ。</p> <p>2. 方法 実習場所: 在宅介護支援センター 実習期間: 9月10月</p> <p>3. 実習内容 地域における在宅介護支援センターの機能と、関係職種の活動の実際をとおして、在宅療養者を支える地域ケアシステムとそれに関わる専門職の役割を学ぶ。</p>	
	テキスト、教材、参考書		

授 業 科 目 名	国際保健活動論実習	担 当 教 官	矢嶋和江
対 象 学 生	地域看護学専攻科学生	学期及び曜日・時限	後期
単 位	1 単位	選択	教室名 302 講義室
回	講 義 題 目	内 容	
		<p>目的: 開発途上国の保健医療の実際を体験することで国際協力における保健医療の課題を学ぶ 異文化間コミュニケーションを通して、互いの文化理解の重要性を理解する</p> <p>方法: アジアの保健医療協力を実施している NGO の活動に研修生として参加する 例: 母子保健プロジェクト活動 農村乳幼児・妊産婦の健康管理指導 保健ボランティアの養成 母親への保健教育 エイズ予防教育</p> <p>実習の進め方: 事前学習 各国の文化、歴史、生活習慣を理解する 各国の簡単な日常会話の学習 各国の看護教育を含めた教育システムの理解 保健衛生の基本的データから保健医療水準や医療システムを知る その他</p> <p>海外研修日程(予定) カンボジアは8月上旬、タイは8月中旬に出発予定 期間は10日間</p>	
テキスト、教材、参考書		* 国際保健活動論選択の学生は、パスポートを取得しておくこと	